

がん検診の受診状況についてのアンケート結果

調査時期：平成23年6月

対象者：県政モニター354人

回答数：298人（回収率84.2%）

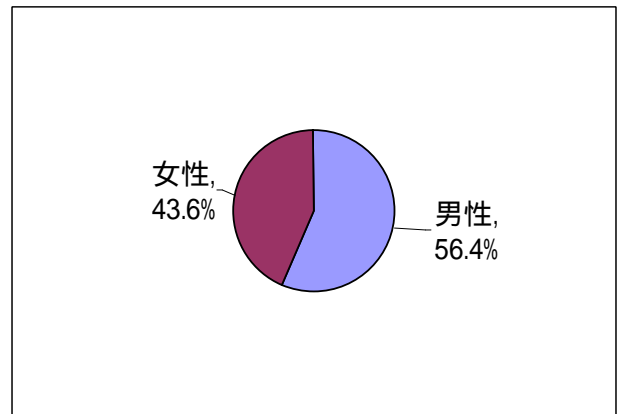
担当課：健康推進課

調査目的：

滋賀県では毎年3,000人以上の方が「がん」により亡くなります。早期発見し適切な治療を行えば治るがんが多くなっています。そのためには、がん検診を受診することが必須であり、受診状況の把握と、がん検診を受けない理由を明らかにし、受診率向上の推進を図るため、アンケート調査を実施しました。

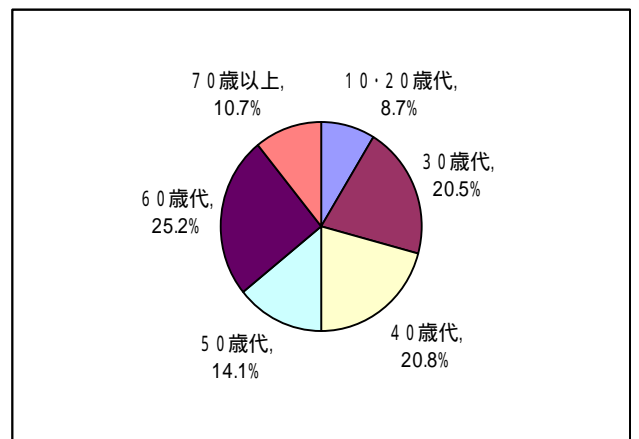
問1 あなたの性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
男性	168	56.4
女性	130	43.6
合計	298	100



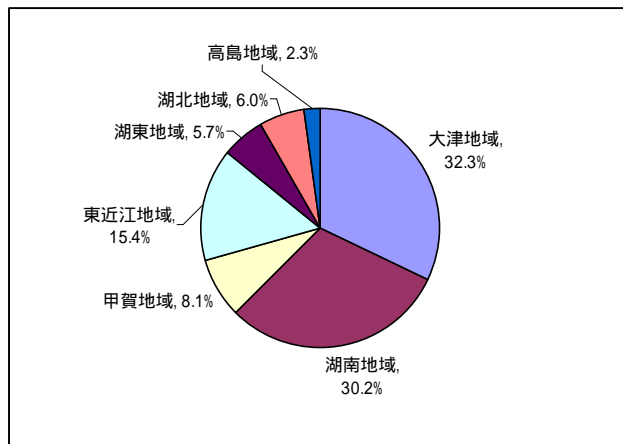
問2 あなたの年齢を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	26	8.7
30歳代	61	20.5
40歳代	62	20.8
50歳代	42	14.1
60歳代	75	25.2
70歳代	32	10.7
合計	298	100



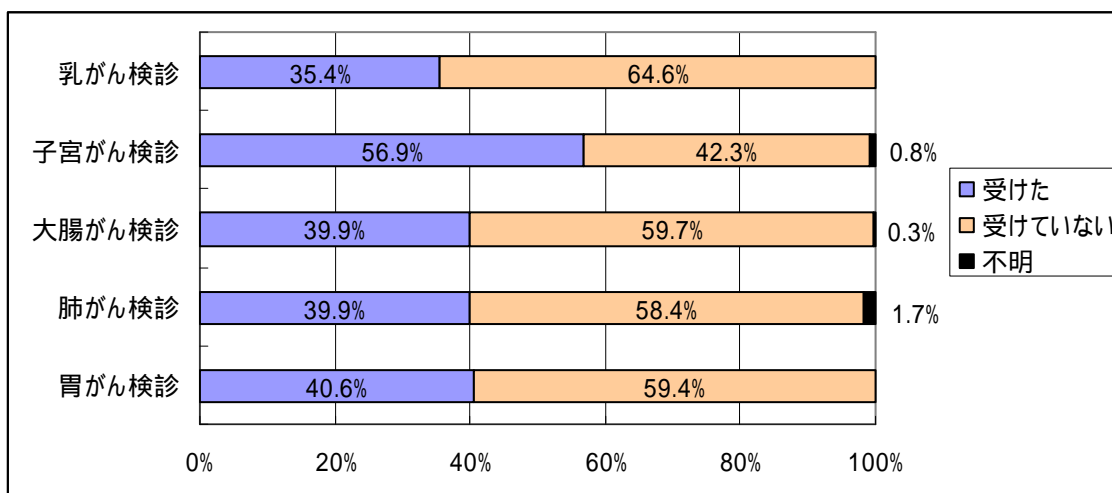
問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	96	32.3
湖南地域	90	30.2
甲賀地域	24	8.1
東近江地域	46	15.4
湖東地域	17	5.7
湖北地域	18	6.0
高島地域	7	2.3
合計	298	100



問4 あなたは次の検診を過去1年間の間に受けられたことがありますか。(回答チェックは各1つ)

項目	受けた		受けていない		不明	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
胃がん検診	121	40.6	177	59.4	0	0
肺がん検診	119	39.9	174	58.4	5	1.7
大腸がん検診	119	39.9	178	59.7	1	0.3
子宮がん検診	74	56.9	55	42.3	1	0.8
乳がん検診	46	35.4	84	64.6	0	0



問5 問4で受診されなかった各検診について、受診されなかった理由は何ですか。(回答チェックは3つまで可)

	胃がん検診		肺がん検診		大腸がん検診		子宮がん検診		乳がん検診	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知らなかったから	23	13.0%	33	19.0%	30	16.9%	6	10.9%	7	8.3%
時間がとれなかったから	34	19.2%	35	20.1%	34	19.1%	16	29.1%	20	23.8%
場所が遠いから	2	1.1%	1	0.6%	2	1.1%	1	1.8%	3	3.6%
費用がかかるから	61	34.5%	62	35.6%	59	33.1%	14	25.5%	35	41.7%
検査等(レントゲン検査等)に不安があるから	9	5.1%	4	2.3%	10	5.6%	3	5.5%	7	8.3%
医療機関に入院や通院して行けなかったから	3	1.7%	1	0.6%	3	1.7%	1	1.8%	0	0.0%
毎年受ける必要性を感じないから	40	22.6%	35	20.1%	40	22.5%	1	1.8%	4	4.8%
健康状態に自信があり、必要性を感じないから	31	17.5%	35	20.1%	33	18.5%	4	7.3%	9	10.7%
心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	37	20.9%	34	19.5%	32	18.0%	11	20.0%	16	19.0%
結果が不安なため受けたくないから	7	4.0%	7	4.0%	8	4.5%	0	0.0%	0	0.0%
めんどうだから	27	15.3%	28	16.1%	30	16.9%	10	18.2%	7	8.3%
その他	33	18.6%	24	13.8%	25	14.0%	9	16.4%	15	17.9%

(n=177)

(n=174)

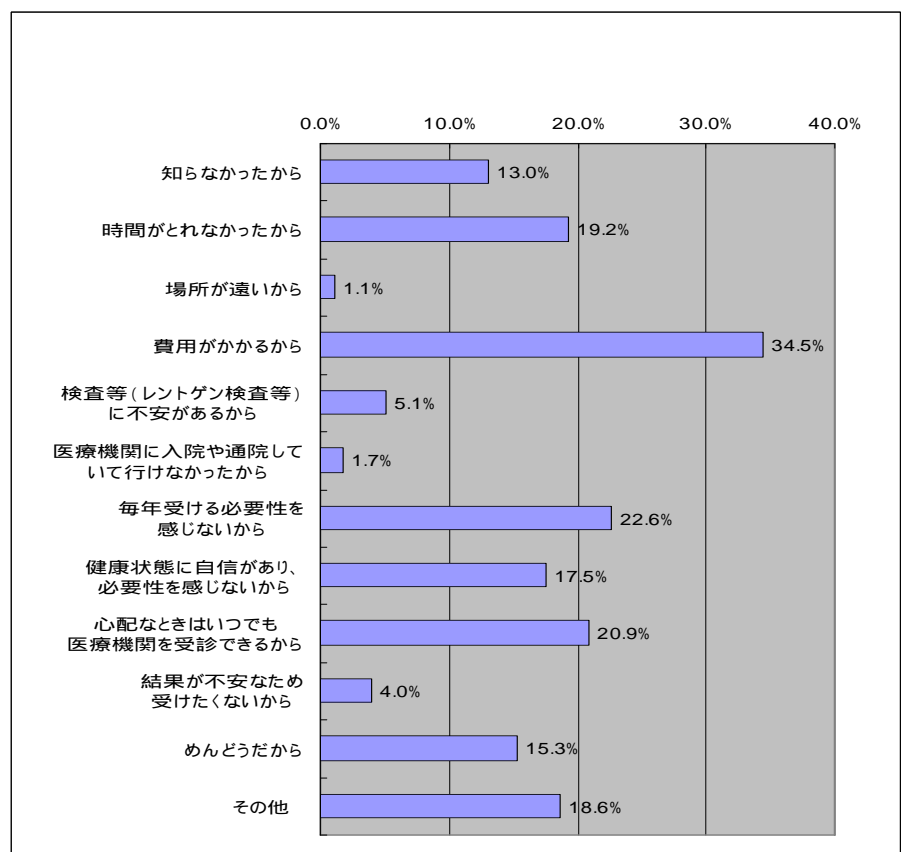
(n=178)

(n=55)

(n=84)

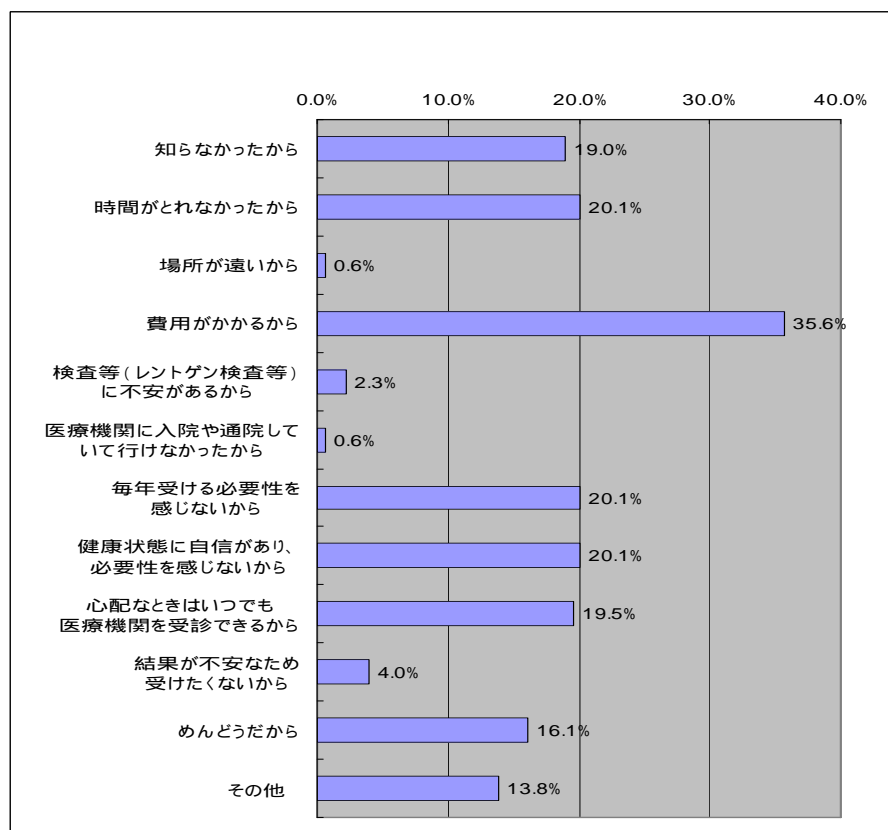
(1) 胃がん検診

(n=177)



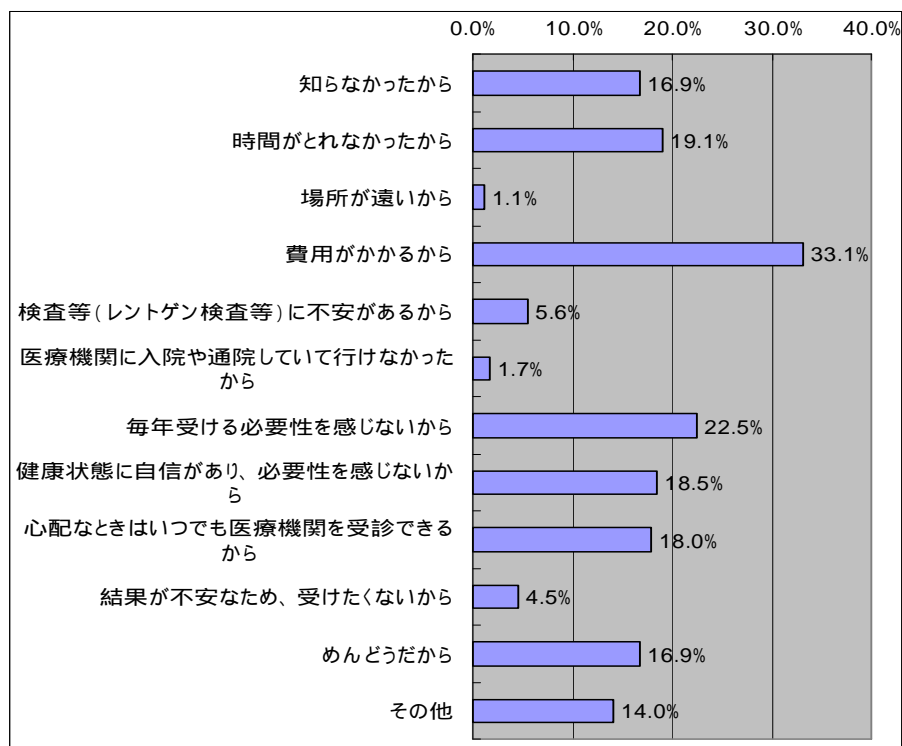
(2) 肺がん検診

(n=174)



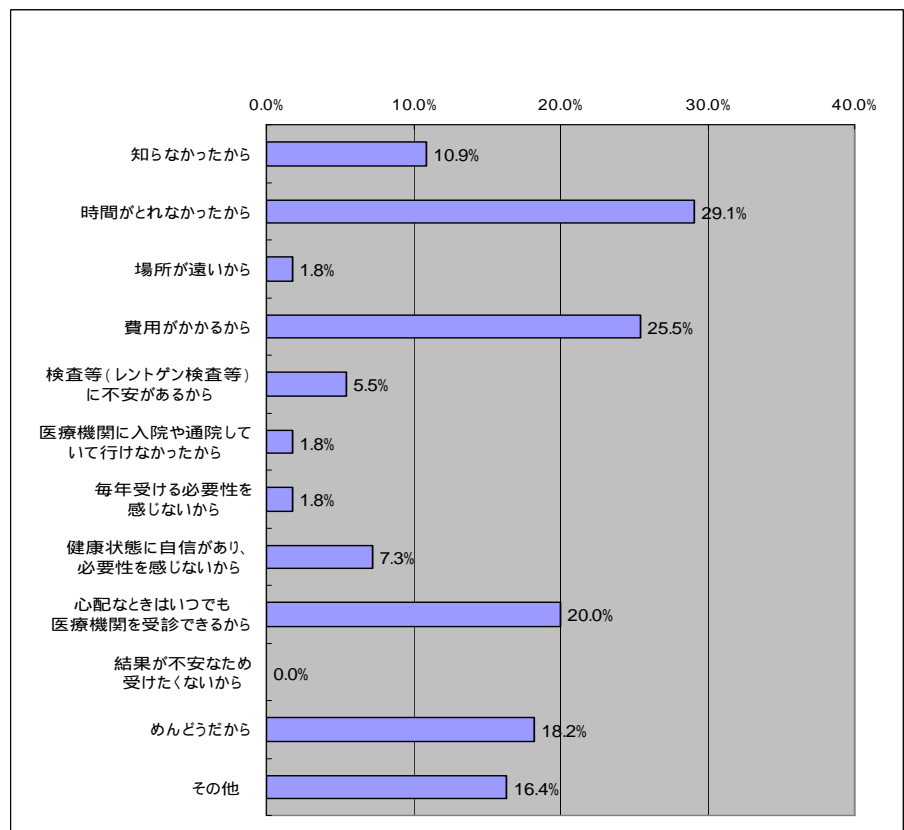
(3) 大腸がん検診

(n=178)



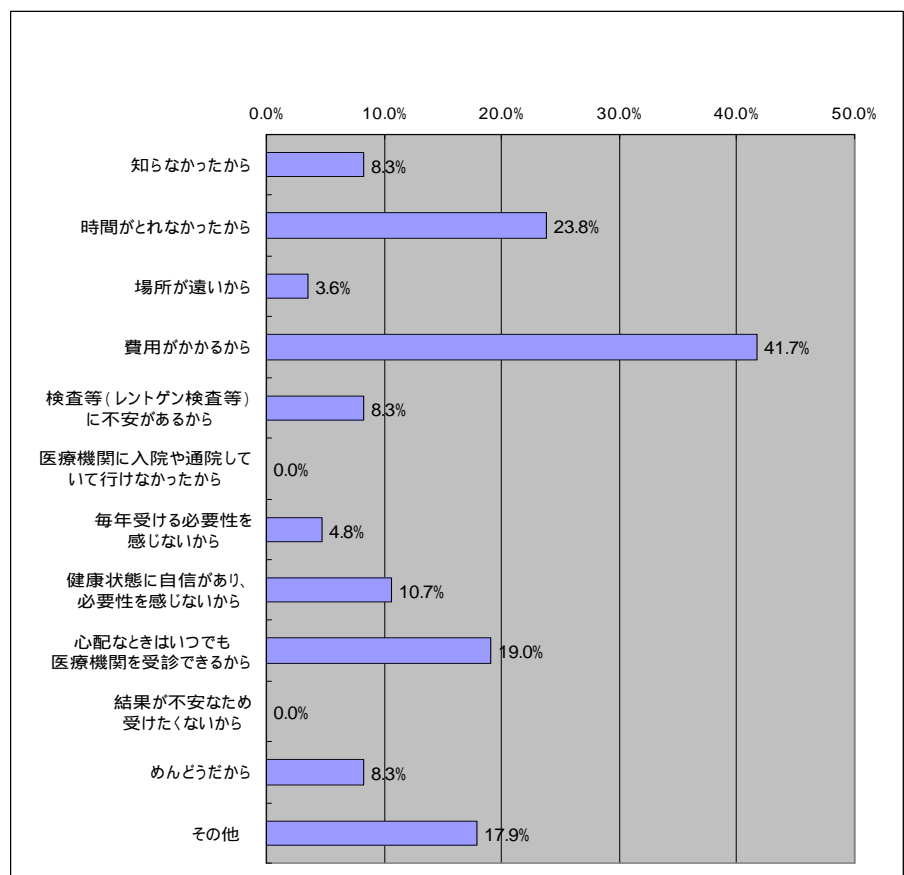
(4) 子宮がん検診

(n=55)



(5) 乳がん検診

(n=84)



問6 その他、がん検診についてご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。
(主なものを抜粋)

- ・がんの検診は重要な医療であり、出来るだけ受けやすいしくみにして頂きたい。
- ・がん検診を受診していたにも関わらず、がんが発病し短期間に亡くなられた方を知っています。確率までは解りませんが、やはり検診を受けたならがんが発病しないように対策を講じられるようにしてほしい。
- ・発見が遅れた時の怖さ、早かった時の対応の可能性を知っておくことが検診率を高めることだと思います。広報などで医学の発達と治癒率の高さを示すとともに遅れた時には間に合わないことの怖さを医師の言葉で伝えていただければと思います。
- ・県で受診を勧めるのであれば経済的負担を軽減する等の支援を頂きたいと思います。異常が発見されないのに受診する価値がない。と思う人も大勢いるのではないのでしょうか？
- ・がん検診は億劫で進んで受診できません。義務付けてもらえると受診できるかも知れません。
- ・20代や30代のがん検診受診するメリットや必要性を感じない人が圧倒的に多いと感じるが、行政としてしっかりと訴えて周知や情報をしっかりと伝達するように図って頂きたい。
- ・健診の年齢に満たないために自治体の健診が受診できない。対象年齢を上げて、受診できるようにしてほしい。
- ・任意で事業場の高価な人間ドックを受検しているが、自治体主導で40歳以下でも安価で受検できる機会が得られるようにしてほしい。